

災害復興計画のアウトライン

◎坪井川も全面的改修

坪井川は来年度に「中小河川改修事業」

③事業の重点
治山、治水に重点をおき、山津波の危険を排除する。

二、玉名郡天水地区

(被災総額
十三億六千九百万円)

①復旧費
八億九千九百円

②三十三年度実施額
五億一千九百円

③事業の重点
治山、治水に重点をおき、山津波の危険を排除する。

七・二六災害は、一時間最大降雨量七六ミリという空前の激しさであったが、これによる被害も七五億円の巨額に達し、その様な惨状は稀にみる深刻さを呈した。これは、これまでの災害対策本部を災害復興本部に昇格させ、県の総力を擧げて復旧対策の樹立に努め、去る八月一五日災害復興計画の成案をみたので、その骨子を述べてみよう。

◎復興費総額

五十六億円

被害総額七十四億七千万円のうち、県および市町村関係の被害総額六十六億円

に対し、復興計画の総額は五十六億一千万円にほる膨大なもので、この計画的基本方針は、河川改修、砂防、農地復旧、農業水利施設の充実などを根幹としてこれらを総合的に調整して事業効果を図り、更にこの事業を単なる原形復旧にとどめず、関連事業、助成事業をできる限り併せて実行し、将来的災害を防除することに重点をおいている。

計画は三年計画とし、三十一年度に四十五ヵ月を実施する方針である。

また被害激甚な農家が多いため、その転落防止のため自作農維持割設資金等の活用を図ることになった。

商工業者の罹災については、零細業者が大部分を占めるので、国民金融公庫等

による融資のあつ旋を図るとともに、融資入り態勢の整備に協力する。

また住宅復興には特に重点をおき、とあります。応急仮設住宅を建設すると共に住宅相談所を設けて住宅金融公庫の融資あつ旋等を行なう。

復興計画は県下の総被災額七十四億七千万円のうち、鉄道、電気通信、管林、専売關係の被害を除いた県市町村関係の被害によって樹てられたもので、復興費用は五十六億円の内訳は、

(国 費) 二十億五十七万円

(県 費) 六億七千九百万円

(市町村元負担) 二十一億六千九百万円

(その他の負担) 一億五千九百万円

(その他の負担) 二千九百八十万円

である。

このうち今年度の実施計画では三十五億円を見込んでいる。その内訳は、

(国 費) 十一億六千九百万円

(県 費) 六億七千九百万円

(市町村元負担) 二十一億六千九百万円

(その他の負担) 一億五千九百万円

である。

このうち三十二年度は一億三千万円を見込んでいる。

第一次改修では、更に詳細な調査を行つて、工事費三億三千九百円を以て坪井川本流において市街地の洪水量八五、毎秒文流井岸川において山王堰まで(日)の堤防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。

第二次改修では、改修を行なうことになつてお

り、改修工事は総額七億円である。

改修計画を第一次改修(昭和七年一月)十一年の改修時に復する第(次)改修全

面的に改修する(二)計画として第一次改修は工事費三億三千九百円を以て坪井川

本流において市街地の洪水量八五、毎秒文流井岸川において山王堰まで(日)の

堤防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。

改修工事は、堆積土砂の浚渫、掘削、堤

防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。

第一次改修では、改修を行なうことになつてお

り、改修工事は総額七億円である。

改修計画を第一次改修(昭和七年一月)十

一年の改修時に復する第(次)改修全

面的に改修する(二)計画として第一次改

修は工事費三億三千九百円を以て坪井川

本流において市街地の洪水量八五、毎秒文流井岸川において山王堰まで(日)の

堤防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。

改修工事は、堆積土砂の浚渫、掘削、堤

防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。

改修工事は、堆積土砂の浚渫、掘削、堤

防の嵩上げ、井堰改修などを行なう。